

令和7年度 静岡県立浜松大平台高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年9月16日（火） 午後1時30分から3時30分まで

2 会 場 静岡県立浜松大平台高等学校 会議室

3 参加者

- (1) 学校運営協議会委員 5名
- (2) 浜松大平台高校職員 9名

4 内 容

- (1) 学校運営協議会委員の委嘱
- (2) 校長挨拶
- (3) 全日制 農業クラブ意見発表（動画視聴）
- (4) 定時制 生活体験発表会（動画視聴）
- (5) 近況報告（全日制・定時制）
- (6) 意見交換・協議
- (7) その他

5 今後の予定

第3回 学校運営協議会（11月25日（火）午後1時30分から3時30分まで）
文化祭（全日制11/9（日）猿投祭・定時制11/11（火）連綿祭）報告等

第4回 学校運営協議会（日程調整中）

学習発表会（全日制1/30（金））報告等、令和7年度学校評価・質疑応答等

委員より

- ・学校の取り組み、特に紫黒米プロジェクトについて、そのストーリー性と研究内容の深さに感銘を受け、積極的に取材し、記事にしたいとの意見が出されました。また、定時制生徒の生活体験発表の文章についても、高校生がこれほど内面を深く表現できることに驚きと感動の声があがりました。
- ・以前と比べて登下校時の生徒の様子が明るく、生き生きと学校生活を送っている様子がうかがえるとの意見がありました。また、本校の専門的な学びを選択できる環境が高く評価されました。10月18日に隣接する西岸中央公園で開催される「大平台フェスティバル」への参加も呼びかけられました。
- ・紫黒米プロジェクトの収益の取り扱いについて質問があり、事務局から、収益は県の収入となり、栽培費用等も県費から支出されているため、一般的な商売のような利益率を学ぶ段階には至っていないが、いずれそのような学びも取り入れたいと回答しました。
- ・生徒一人ひとりの自己を見つめ、内面的な成長を促す環境を提供している点が評価され、教師が生徒を優しく見守り、声かけを続けることの重要性が強調されました。また、定時制が一般的な定時制とは異なる「強み」を持っていると述べられました。
- ・小中学校と高校の連携強化に対する期待が述べられ、キャリア教育の観点から、本校の総合学科の取り組みを小中学生に伝える機会を設けることが有益であるとの意見が出されました。